

令和6年度地域リハビリテーション活動支援事業等研修会 アンケート結果

アンケート提出者数

PT	OT	ST	包括	市	計
11	12	2	10	1	36

参加者(47名)

通いの場・同行訪問・私の暮らし会議（地域ケア会議）
・短期集中通所介護（通所型サービス・活動C）の参加経験

あり	なし	通いの場	同行訪問	私の暮らし会議	サービス・活動C
33	3	27	17	19	17

※「あり」と回答した人の事業別参加者数(複数回答可)

地域リハビリテーション活動支援事業の概要について理解できましたか？

十分理解できた	まあまあ理解できた	あまり理解できなかった	ほとんど理解できなかった
29	7	0	0

研修会で得られたこと（抜粋）

○多職種連携

社会資源の情報。多職種との連携が深まった。
地域包括支援センターの方と話をする機会がないため、良い機会になりました。
セルフマネジメント力向上や各事業において多職種がそれぞれ大切にしていること。感じている効果・課題を知ることができた。
他職の方と同じテーマで自由に話し合う事で、視野が広がった。
高齢者のセルフマネジメントにつなげるには、多職種の考え方、アイデア、生きがい、小さな喜びなどたくさんあると感じました。
専門職各々の得意分野を知り、お互いに補い合うことで本人にとってよりよい支援ができるのではと改めて感じた。
リハ職さんの必要性を改めて感じました。生きがいを一緒に探していける支援がしていけたらと思う。
リハ職さん達の支援の先にある目指すものを知ることができました。
リハ職さん達の通いの場へつなぐ大変さも理解できました。

○セルフマネジメント・生きがいの必要性

「生きがい」 目標を見つけるお手伝い役ということ。
新しい概念があること、IKIGAIについて考える機会ができました。
普通の生活への参加を後押し。応援することが重要。
セルフマネジメントへの工夫・重要性。
生きがいとは動くためのエネルギー。印象に残りました。
職種によってそれぞれのアプローチの方法がちがう事がセルフマネジメントに繋がっていると感じた。
セルフマネジメントを高めていくために様々な意見にふれて改めて業務や介護予防について学ぶことの大切さを感じました。
高齢者の方に今後どのような事を目標にして生活、活動してもらうか。
生きがいを一緒に探すことの大切さ。

○地域との関わり

地域をもっと知ること。病院の中でも地域につなげていくこと。
生きがいを一緒に探すことの大切さ。
通いの場を知らないPTさんやOTさんが多かった。地域資源を知ってもらうことが課題であると感じた。
地域でできる事は小さな事からでいい(ほめる、話を聞くなど)。地域では様々な関わりが大切になること。
地域ケア会議の詳細。地域の関わり方、支援方法。

○職能内での気づき

若い方の意見は新鮮なものでした。
若手に積極的に参加させる必要
リハスタッフの技術量は低下しやすいので、レベルアップは必要。
初心に戻れました。

今後、通いの場や同行訪問、私の暮らし会議（地域ケア会議）、短期集中通所介護（通所型サービス・活動C）等の支援に携わる上で、本研修会は参考になると感じましたか？

大変参考になると思った	まあまあ参考になると思った	あまり思わなかった	全く思わなかった
31	5	0	0

地域リハビリテーション活動支援事業について気になっていること・やってみたいこと、
今後の研修で聞きたい内容等がありましたら、ご自由にご記入ください。

市内各地の地域課題。それに対する解決策、プロセスなど。
地域ケア会議のその後について。
私の暮らし会議は見学させていただくことができれば嬉しいと思った。
事例紹介。リハとケアマネさんでの事例